

「耕作放棄地再生利用推進事業」仕様書

1. 作業の進め方

1) 協議会の設立

事業の実施主体は「行政、農業者団体等により協議会が設立される。」

2. 調査のすすめ方

1) 耕作放棄地情報の整理

耕作放棄地情報の整理 耕作放棄地の地番、地籍、所有者名、住所の把握及び登記事項証明書を取り寄せ、仮登記の有無を確認し、利用意向調査対象者を把握する。

2) 利用意向調査の実施

耕作放棄地の筆ごとに、現状認識、利用意向を把握するために、調査票を郵送し回収する。回収にあたっては、電話連絡等により 100%回収を目指す。回収後、入力・集計する。

3) 耕作放棄地情報に係る GIS 整備(デジタルデータ対応の市町村に限ります)

4) 打ち合わせ及び報告書の作成

集計結果を取りまとめ報告書を作成する。

5) 耕作放棄地の再生実証試験について

当社が提案する、耕作放棄地の有効活用事業として、
・ナチュラル水耕プラント及び
・ミミズコンポスト事業の実証試験を構築してみる。

・ナチュラル水耕プラント 及び
・ミミズコンポストをすすめるにあたっての設備
コスト及び事業費の積算

上記事業をすすめるにあたっての、人員体制や作業工程等の作成

上記事業をすすめるにあたっての各種検討会、地元寄り合いの開催

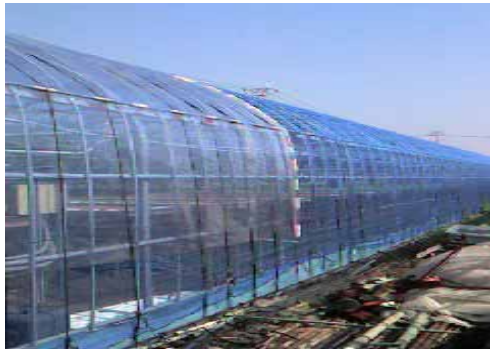
3. 再生実証試験

. ナチュラル水耕プラント

燃料やハウスのいらない養液栽培システム

ナチュラル水耕栽培

ナチュラル水耕栽培システムのイメージ



ハウス跡地



養液水槽タンク



栽培ベンチ



栽培ベッドからの排水回収



育苗



生育作物

無農薬栽培の実現（カテキン、天然ハーブ、ニームを使用）

1．遊休農地で生産

- ・耕作放棄地を活用できる
- ・土質を問わない

2．除草作業がない

- ・食の安心を売れる
- ・コストが安くなる

3．特許技術の活用

- ・肥培管理の指導

< 環境問題への対応 >

- ・農地の保全
- ・安全な食材の提供
- ・作業にも安全
- ・作業日誌を作成

（ J A S の認証が可能 ）

生産物：フィリピン産野菜とナチュラル水耕栽培野菜の比較

ロメイン



香菜



レッドリーフ



1P = 2.7円
2007.01.10現在



. ミミズコンポスト

ミミズ畑(床)



4m × 100m 3連
 日量 3~4m³ 処理可能

破砕機



食品残渣を土に戻りやすくする為細かく破砕します

ミミズ



ミキサー車



破砕した食品残渣を畑に散布します

排水留



作業等の清掃時の汚水を外部に流出させない為の排水留です。汚水はモーターによってミミズ畑に散布します。

バイオトイレ



従業員及び来客の為のトイレです。尿尿をバイオで分解し、きれいな水を再びタンクに戻すリサイクル水洗トイレです。排水は一滴も出ません。

不燃物処理機



食品残渣に混入されたナイロン・プラスチック等を高温蒸気によって溶解し、体積をおよそ40~50分の1に凝固します。

さらに凝固した不燃物を砂状に破砕しコンクリート等に混ぜ路材・骨材等に再利用します。

ミミズを活用した食品残渣リサイクル処理方法

一般的にシマミミズと呼ばれているミミズ（魚釣り等の時に利用するミミズ）を活用します。

シマミミズは1日に自分の体重分（約1g）の食品残渣を消化しますが、ミミズが生息するための住居が必要となります。私どもではこれを「ミミズの床」と表現しております。

1日約10kgの食品残渣をミミズが消化するためには、10kgのミミズと約2～3㎡（厚さ40cm）の床が必要となります。

ミミズには歯がありません。床の中で食品残渣が腐敗し土にもどる前後にそれを食べ、栄養を取り込み糞をします。

ミミズの糞は大変優良な肥料または土壌改良剤ですので、農家やガーデニング愛好家等に販売できます。

ミミズの消化する食品残渣は、前述しました様に「土に戻るのが早い程、消化速度が速い」ため、食品残渣によって異なります。

ミミズによる生ゴミリサイクル処理のメリット

設備等の処理費が従来の焼却より格段に安い

焼却後の灰の運搬、埋め立て等がいない

焼却ではないのでCO₂が発生しない

石油等の資源、エネルギーを消費しない

ミミズの糞が優秀な堆肥としてリサイクルできる

畑、花壇等に肥料として利用し、安全な有機野菜等を栽培する

他の処理方法（バイオ等を利用した機械処理）と違い、電気代・バイオ菌交換等のランニングコストがかからない

等々

◆ ミミズによるリサイクル処理なら・・・



カルテ記入票

調査を実施したい市町村名及び担当課、担当者名、連絡先を明記して下さい。

1. 当社から作業をすすめるにあたっての、現況把握シートを送付させていただきます。
2. 数字その他を記入した現況シートをもとに当社で、作業をすすめるにあたっての見積を作成させていただきます。

現況把握シート

市町村名	
担当課	
担当者	
連絡先	

委託作業の中身

～ の該当するものについて左欄に をつけてください。

	耕作放棄地情報の整理と、利用意向調査の実施だけコンサル依頼を検討している。
	耕作放棄地情報を一元管理するため、GIS 整備（デジタルデータ対応の市町村に限ります）の部分だけコンサル依頼を検討をしている。
	協議会での検討事項が必要なので、再生実証実験（ナチュラル水耕プラント事業またはミミズコンポスト事業）だけコンサル依頼を検討している。
	耕作放棄地情報整理から実証実験まで全てコンサル依頼を考察している。

FAX 送信先 048 - 682 - 0572

TEL 048 - 682 - 0571

有限会社農業経営研究所 担当；中川まで

〒337-0007 埼玉県見沼区丸ヶ崎町 38-1

E-mail : info@nokei.co.jp <http://www.nokei.co.jp>